

## 2024 年沖縄本土復帰 52 年 第 47 回 5・15 沖縄平和行進に参加して

関東地方横浜支部青年部 八代広人

本土復帰 52 年 5・15 沖縄平和行進に 5 月 17 日から 20 日にかけて初めて参加させていただきました。5 月 18 日の行進では 2000 人以上の方々が参加され、行進団の列を見た際は、普段目にする事のできない圧巻な光景に驚きました。普天間基地の周りを北コースと南コースで分かれて私たちは南コースを行進しました。普天間基地は住宅や学校のすぐ側にあり、近くでオスプレイなどが飛び交うと聞いて、日常生活が常に危険にさらされていると感じました。また、オスプレイの墜落事故があった大学の前を行進した際に伺った話なのですが、墜落直後に米軍が規制線を張り日本の警察や消防が入る事のできない状況だったとのこと。墜落事故の詳細は曖昧にされ、情報は米軍からのものだけが伝えられたと伺いました。この話を聞いた時、改めて 1960 年に締結され、64 年間一度も改訂が行われていない日米地位協定の見直しが必要だと思いました。5 月 19 日は沖縄戦争跡地や米軍基地を視察しました。その中でもひめゆり平和祈念資料館がとても印象に残りました。資料館にはひめゆり学徒隊の子どもたちの写真が展示されていました。写真とともに、一人一人がどのような最後を迎えたのかが記されているのを見て胸がしめつけられ、言葉にはできない悲しい感情が溢れ出しました。戦争は学校に通っている 10 代の子どもたちまでもが戦場に送り出されるととても悲惨で残酷な出来事です。絶対に繰り返してはいけないと強く思いました。復帰 52 年 5・15 沖縄平和行進に参加させていただきました現地の方々から戦争の残酷さや米軍基地が身近に存在する恐ろしさを聞き、自らの目を見て、肌で感じる事ができました。忘れられないとても価値のある体験ができ、本当の平和とはなにかを自分自身で深く考える事が必要だと感じました。最後になりますが、お忙しい中受け入れ準備やさまざまな対応をしてくださった沖縄地本の皆様、ありがとうございました。